

# 市議政調費の一部 不適切支出と認定

川口市監査委員 10議員129万円

川口市議会の政務調査費（村松幹雄代表）が総額1  
に不当な支出があったとし  
て、川口市民オンブズマン  
650万円余の返還を求め  
た住民監査請求で、市監査

委員事務局は21日、2会派  
10議員の計約129万円を  
不適切な支出と認め、公表  
した。20日付で市長へ返還  
勧告措置をとったという。

監査請求の対象は、多額  
の支出が見込まれる改選前  
の2010年4月から翌年  
4月。村松代表は、「調査  
研究に資するため」とした  
使途は、市政との具体的な

関連が問われる」と厳格な  
判断を求めている。

不当な支出としたのは、  
主に広報紙の発行。政務調  
査と判別しにくい場合の支  
出基準を適用せず、全額を  
請求した自民と民主の8人  
（所属は当時）に「自身の  
写真や経歴欄が過大」とし  
て半額の返還を求めた。任  
期満了前後の「活動」で、

テレビ購入や廃棄物処理費  
などを計上した3人につい  
ても返還が必要とした。

村松代表は「立候補しな  
かった議員の物品購入を認  
めるなど、社会的良識が働  
いていない。制度の趣旨と  
運用に隔たりがあり、裁量  
の基準が（今回も）明確で  
ない」と話している。

（伊藤典俊）